

社会福祉法人童里夢 令和8年度の法人運営について（みなさんと一緒にめざすもの）

昨年度から将来の法人像を明確化と共に事業の組み立て運営、職場（組織・人）の基盤づくりすすめてきたところですが、令和8年度、あらためて大切にしたいことは「未来を共につくる」「挑戦、成長（発展）に協力・寄与する組織文化づくり」という姿勢、取組みです。

変化の時代において、福祉の役割はますます拮がり複雑になり、私たちが日々向き合っている支援の現場には、利用者ご本人やご家族の想い、地域の方々の温かさ、そして職員一人ひとりの努力と情熱が積み重なっています。その中で童里夢が果たすべき役割は、法人理念の具現化に向けての取組みとして利用者一人ひとりが「自分らしく生きる」ことを支え、地域とつながり安心して暮らし続けることであり、その中心にいるのは間違いなく「職員のみなさん一人ひとり」です。

童里夢の未来は、私たちの手でつくられることを意識して、希望と挑戦、そして笑顔あふれる一年にしていきましょう。

《 童里夢の基本方針 》 ※法人の全ての活動、運営・組織の在り方

『共に汗し、共に笑い、共に語ろう！』

- 「社会に存在する何人とも認め合い、助け合い、許し合い、共に生きていきます」
- 「地域社会とのつながりを大切にして、地域共同ネットワークづくりのために努力します」
- 「障害者一人ひとりが、主体的な人生を送るために自律の支援を追求します」
- 「障害者の社会参加に必要な情報を収集し、障害者理解に必要な情報を発信します」
- 「障害者に必要なサービスを継続的に提供できるように、時代に合わせて変化し続けます」

法人の将来像と役割

令和7年度年から引き続き未来への橋渡し期間と位置づけます。法人設立25年を控え、既存の事業を見直しながら、新規事業展開を見据えた変化、新たな体制づくりが求められています。

地域に支えられ、地域に生かされる存在として、「地域と共に歩む」姿勢を大切にし、情報開示（透明性）、情報発信と共に、「社会と地域に貢献する責務」を積極的に果たす取組みをすすめます。

- ・ 法人運営体制の点検から再構築へ
法人理念を基軸として今後の事業の安定継続、発展のため、あらためて事業運営管理の最適化に向けた取り組みを重点課題とする。
- ・ 人材育成を通しての組織作りの推進 自考自走できる支援の専門集団
職員ひとり一人を価値ある人材と捉え、個々人のパーソナリティや強みを見極めて相互補完性の高いチームづくりを目指す。そのために組織の目的に応じた職員編成をすすめる。
- ・ 新規事業（拠点整備）に向けての取組み
新たな事業のカタチをイメージしながら、“たんぼぼ活動”の取組み、地域生活支援体制の拡充を推進する。
- ・ 地域行事・地域ネットワーク等への積極的参加、地域公益活動の推進
企業、学校、住民との連携強化
- ・ 法人の特徴（童里夢らしさ）の発信強化（機関紙、SNS、ブログ、HP、YouTube）